

住民懇談会

▼テーマ

競馬事業の状況について

食育推進計画について

地域の課題・その他



▲市内4カ所で行われた住民懇談会 約300人が参加しました。

市では、7月下旬から8月上旬にかけて、平成23年度「住民懇談会」を①小岱工芸館 ②みどり蒼生館 ③エポック・荒尾 ④メディア交流館の市内4カ所で開催しました。

市長をはじめとする幹部職員と市民の皆さんの間で、活発に意見が交わされました。ここでは、各地区の皆さんから出された意見や提言の一部を紹介します。なお、いただいた意見などについては十分検討し、今後の市政に活かしていきます。

☎ 秘書広報課 ☎ 63-1157



A	Q
今年度から65歳以上の要介護を受けていない市民1万2千人に3年間で調査票を送付することで認知症の把握をします。	認知症はどのように把握していますか。

A	Q
社会教育課に公民館の新築などに対する補助制度がありますので、相談してください。	地域の公民館が老朽化しているのに、市からの補助をお願いできないでしょうか。

A	Q
跡地活用については、地元からの要望書を受け取っていますので、地域住民の皆さんの御意見も参考にして考えていきます。	荒尾第三小学校が閉校しましたが、今後の施設の使用予定は決定していますか。

地域の課題・その他

A	Q
直接、競馬事業に関係しているのは、平成23年5月の時点で178人です。他に委託業者を加えれば総計で450人くらいです。	現在、荒尾市ではどのくらいの方が競馬事業で働いていますか。

A	Q
以前実施したことがありますが、西日が強くて観覧席の空調設備では対応できませんでした。	競馬事業は夏場の電気節減のため、夕方開催してはどうでしょうか。
また、開催日が木、金曜日だけなので屋台村の営業は難しいです。	また、屋台村のような施設を充実させてみてどうでしょうか。

▼末永淳一 (競馬対策課)



競馬事業の状況について

▼前畑淳治 (荒尾市長) 皆さんのご意見を今後の市政に活かします



A	Q
昨年度に3歳児までの無料化に踏み切ったところですが、今後、子育て支援施策全体の中で検討していきたいと考えています。	乳幼児医療費無料化の年齢引き上げと、医療費を償還払いではなく、現物支給を検討していただきたい。
現物給付については、保険によってシステムが異なっていますので、今後の課題としてとらえています。	

A	Q
施設の老朽化が進んでいるので、7月から点検調査のため臨時休館しています。これからの調査結果をみて、結論を出したいと考えています。	老人福祉センターの存続をお願いします。

A	Q
荒尾市内にも放射能汚染の稲藁を飼料とした牛肉が販売されたケースがありましたが、いずれも基準値以下でした。出荷制限がかかっているのが安全です。	放射能汚染食材のチェックはしていますか。
今後も県の保健所と連携しながら情報提供に努めていきます。	

A	Q
食育推進関係者のネットワークを作り、連携協力して計画を実施していきます。	荒尾市食育推進計画については、今後の実施計画や市民への周知はどうなりますか。
また、具体的な数値目標を掲げて計画の進捗状況を示すことで皆さんに周知を行う予定です。	

▼江崎恭子 (保健センター)



食育推進計画について